



代表取締役  
松本 佳之

### 松本建設株式会社

京都市伏見区横大路千両松町70番地  
☎ 075-605-9500  
<https://www.hosokoji.com/>

### プロフィール

1979年宇治市生まれ。アメリカ留学で国際的視野と柔軟な発想力を培う。大学卒業後、株式会社MAXを創業し、舗装工事に加えモルタル造形等独自分野にも挑戦。15年間の現場経験を経て2018年に松本建設代表に就任し、DXを推進。M-CIM等を開発しICT施工の普及を牽引、全国展開を進め業界革新に挑み続けている。



## “私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側  
受賞企業紹介



### プラン名

道路の未来を変える次世代ICT

『M-CIM Pilot』

従来型の切削機と連携によりICT切削機に進化

## 第6回 チャレンジ部門 グランプリ 受賞

MM-CIM Coreが現場を測り、  
M-CIM Pilotが施工を導く  
現場の声を徹底的に反映した次世代ICT施工

近年、日本全国で地中埋設物の老朽化が進み、道路陥没や冠水事故が相次いでいます。加えて、建設業界は深刻な人手不足でインフラ維持の担い手確保が大きな課題となっています。国はICTを活用した生産性向上を推進していますが、現場には未だ十分に浸透していません。

その理由のひとつは、道路工事がミリ単位の平たん性を求められる超精密作業である点にあります。従来のシステムでは、現場の求める精度を満たせず、誤差のリスクが排除できないため、実用化の障壁となっていました。

「それならば、最前線で道路と真摯に向き合ってきた当社が、現場で実用に耐えるシステムを作ろう」——現場の課題を目的の当りにし、一念発起したことがこのプランの出発点となりました。

当社は、施工・管理からプログラム開発、改良までを社内で一貫して行う体制を強みとし、現場の声を徹底的に反映したシステムづくりを進めています。目指したのは、自動化で人の仕事を奪うのではなく、現場で働く人を支える技術です。

その成果が、高精度な測量・設計を



ビジネスプランの詳細はこちら



担う「M-CIM Core」と、既存の切削機をICT建機化する施工支援システム「M-CIM Pilot」です。ドローンや3Dスキャナーのデータから設計情報を生成し、削るべき箇所をタブレット上で直感的に把握できるため、必要な部分のみを効率的に切削し、品質向上とコスト削減を実現しています。また、画面には人気ゲームの「バックマン」をイメージしたデザインを採用し、誰もが分かりやすい操作性を追求しました。

さらに、熟練工が長年培ってきた「経験と勘」をデータとして蓄積共有できるため、若手技術者への技能継承にも大きく貢献しています。また、施工履歴の記録や品質管理にも活用できるため、道路インフラの維持管理の高度化にもつながっています。

今秋には、大手建設会社との連携や建設技術展への出展を予定しています。「壊れる前に直す」インフラ維持を目指し、京都から世界へ。道路の未来を変え、挑戦を続けます。



建設DX技術の全国展開に向けて、京都商工会議所の専門家ネットワークを活用し、販売体制の強化等に関するアドバイスの機会を提供。あわせて、同社の優れた技術を広く発信し、販路拡大につながるよう支援します。

京商の支援